

群馬県の将来推計人口について（概要）

1 内容

平成29年(2017年)から平成39年(2027年)までの
今後10年間の群馬県の将来人口を推計しました。

●年齢3区分別人口の推移

上段：人口、下段：構成比、（ ）増減比

区 分	平成29年	平成39年	増減
年少人口 (0～14歳)	241,447 人 12.3 %	200,310 人 10.9 %	－41,137 人 (－17.0 %)
生産年齢人口 (15～64歳)	1,150,045 人 58.7 %	1,046,309 人 56.9 %	－103,736 人 (－9.0 %)
老年人口 (65歳以上)	567,123 人 29.0 %	592,852 人 32.2 %	25,729 人 (4.5 %)
計	1,958,615 人 100.0 %	1,839,472 人 100.0 %	－119,143 人 (－6.1 %)
＜参考＞ 後期老年人口 (75歳以上)	278,247 人 14.2 %	364,441 人 19.8 %	86,194 人 (31.0 %)

(注) 端数処理をしているため、合計が一致しない場合があります。

2 推計の特徴

将来人口推計については、国立社会保障・人口問題研究所により都道府県別に行なわれており、平成30年3月に平成27年国勢調査結果を踏まえた推計結果が同所ホームページで公表されていますが、それは5年ごと5歳階級別のものです。

今回の県の推計は、1年ごと各歳別のものであり、例えばその年に18歳となる人数等が把握できるようになっています。

※報告書、結果表（エクセルファイル）は、次の群馬県統計情報提供システムのホームページに掲載しています。 (<http://toukei.pref.gunma.jp/ssj/index.html>)